

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●サマーシリーズの各チャンピオンが決定

9月6日(日)をもって本年のサマーシリーズ対象レースがすべて終了しました。サマースプリントシリーズでは函館スプリントSとアイビスサマーダッシュの連勝などで26ポイントを獲得したピューロマジック(牝5歳/栗東・安田翔伍厩舎)が、サマーマイルシリーズではしらさぎS1着など12ポイント獲得のエルトンパローズ(牡6歳/栗東・杉山晴紀厩舎)が優勝(サマー2000シリーズは該当馬なし)。サマージョッキーズシリーズでは対象15レース中7レースに騎乗して3勝をあげた岩田望来騎手(栗東・フリー)が40ポイントでチャンピオンに輝いています。

●馬単におけるJRA史上最高払戻金記録更新

9月6日(日)の4回中山2日・第7レースでは単勝17番人気のカテラルクォーツが1着、15番人気のジェイエルグリーンが2着、6番人気のサンクレゾンが3着に入り、馬単の払戻金は187万6620円(的中15票)、3連単の払戻金は5294万8520円(的中2票)となりました。これは馬単におけるJRA史上最高払戻金記録であり、3連単では歴代第2位の記録となります。

●C.ルメール騎手と岩田望来騎手がJRA年間100勝を達成

9月5日(土)の4回中山1日・第5レースではヴェトロテンベスタが1着となり、同馬に騎乗したクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は12年連続12回目となるJRA年間100勝を達成しました。さらに同日の4回阪神1日・第9レースとして行われた出石特別ではジャイアンパローズが1着となり、同馬に騎乗した岩田望来騎手も自身3回目となるJRA年間100勝を達成しました。

●酒井学騎手がJRA通算1万1000回騎乗を達成

9月5日(土)の4回阪神1日・第4レースでアリディプラチノに騎乗した酒井学騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上50人目・現役27人目となるJRA通算1万1000回騎乗を達成しました。

●横山和生騎手が札幌競馬リーディングジョッキーに輝く

9月6日(日)をもって本年の札幌競馬が終了し、1回札幌・2回札幌で計17勝をあげた横山和生騎手(美浦・フリー)が、自身初となる札幌競馬リーディングジョッキーを獲得しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ジャパンダートダービー馬ミックファイア(大井)が引退

2023年のジャパンダートダービー(JpnI、大井)を含む大井三冠を達成したミックファイア(牡6歳、父シニスターミニスター)は、7月22日のサンタアニタトロフィー12着を最後に引退、北海道のレックススタッドで種牡馬となる予定です。通算成績は21戦7勝でした。

●ビギナーズC(水沢)は無敗馬リケアサンバ[各地の2歳重賞]

ビギナーズC(9月6日、水沢、1,400円)は、先手を取った2番人気の高知からの転入馬リケアサンバ(騾、父インカンテーション)が1番人気の芝重賞2勝馬セイカールトン(4馬身引き離し、高知の新馬戦から連勝。佐賀デビュー馬限定戦の九州ジュニアチャンピオン(9月6日、佐賀、1,400円)は、4番手から差を詰めた3番人気のブリーズホープ(牝、父チュウワウイザード)が、単勝1.1倍で圧倒的人気のひまわり賞(小倉)2着馬タカヨシに競り勝っています。

●伏兵クレームドールが戸塚記念に優勝[各地の主要3歳重賞]

戸塚記念(9月9日、川崎、2,100円)は、後ろから2頭目という位置から追い上げて4コーナーで抜け出した8番人気のクレームドール(牡、父ゴールドアクター)が、4馬身差の楽勝を収めました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港のロマンチックウォリアーが引退

2022年から4連覇した香港カップ(芝2,000円)、オーストラリアで制した23年のコックスプレート(芝2,040円)、それに24年の安田記念(GI)(芝1,600円)など1,600円から2,400円で15のG1を制し、香港年度代表馬にも23/24年、25/26年と2度輝いたロマンチックウォリアー(騾8歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)の引退が現地9月2日に香港ジョッキークラブから発表されました。前肢の怪我によるもの。獲得賞金の2億8874万5697香港ドル(約60億591万円/1香港ドル=20.8円で換算)は史上最多記録です。

●韓国で日本調教馬が重賞2勝を挙げる

9月6日、韓国のソウル競馬場で日本調教馬が重賞2勝を挙げました。今年G3からG2に昇格したコリアカップ(3歳以上、ダート1,800円)は矢野貴之騎手が騎乗したディクテオン(騾8歳、父キングカメハメハ、大井・荒山勝徳厩舎)が、日本からの遠征馬サンデーファンデーを2着に下して連覇達成。またこの1レース前に行われたG3コリアスプリント(3歳以上、ダート1,200円)では戸崎圭太騎手が手綱を取ったドラゴンウェルズ(牡4歳、父フロステッド、栗東・藤原英昭厩舎)が、同じく日本調教馬のアメリカンステージを2着にしりぞけて優勝しました。